

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-20-3367</p> <p>【10次総の施策体系】 3302</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 市が所有又は管理する指定文化財等について、適正な管理を図る。</p> <p>【事業の成果】 ①指定文化財の適正な管理を行うために除草作業を行った。 ②因幡国庁跡・禰谷グラウンドアパート説明板修繕、史跡亀井公墓所標柱修繕。 ③歴史文化基本構想の策定に関する研修会や文化財の保護に関する研修会への参加。 ④第42回全国遺跡環境整備会議を本市で開催し、本市の石造建造物保存活用の取り組みを情報発信。</p> <p>【今後の課題・方向性】 既存の指定文化財の適正な管理とともに、未指定の文化財等の調査・把握に努める。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	文化財案内看板等設置数	25%	75%			
	2	歴史文化基本構想の策定		100%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	当初の計画どおり事業実施することができた。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	全国的な大会である第42回全国遺跡環境整備会議を本市が事務局として開催し、本市の取り組みを情報発信することができた。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>既存の指定文化財の適正な管理とともに、未指定の文化財等の調査・把握に努める。また、文化財の保存と活用を進めるため、歴史文化基本構想の策定に取り組み、市内各地域に根差す文化財を掘り起こすとともに市民の文化財保護意識の醸成に努める。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	023802	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	指定文化財等管理・活用事業(池田家墓所管理)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち	事業期間	平成16年度～平成32年度	
	政策	03	魅力ある鳥取文化づくり	根拠法令、根拠計画等	文化財保護法、鳥取市文化財保護条例	
	施策	3302	文化財の整備・保存・活用			
施策の目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	
	「文化財が適切に保存管理されている」と思う市民の割合(H26年度:62%)		0%	65%		ソフト(任意)
	主な文化財関連施設への入込数		97,000人	109,000人	運営方法	補助金交付
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	史跡鳥取藩主池田家墓所管理補助金		予算事業コード	01-09-04-05-02-03	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	史跡鳥取藩主池田家墓所
意図 (どのような状態にするために)	文化財として良好な状態で保存・活用し、地域資源としての価値を高める。
手段 (どうするのか)	公益財団法人史跡鳥取藩主池田家墓所保存会が事業主体となり、平成15年度に策定した「保存整備計画」に基づく復元や保存修理・環境整備を行う。また、その成果を活用し、文化財の利活用を推進する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		年度別計画	①史跡鳥取藩主池田家墓所保存会運営補助 ○藩主墓の保存整備工事・設計監理・保存整備委員会の開催 ○次年度工事の設計 ○史跡管理と啓発事業	①史跡鳥取藩主池田家墓所保存会運営補助 ・藩主墓の保存整備工事 ・設計監理 ・保存整備委員会の開催 ・次年度工事の設計 ・史跡管理と啓発事業	①史跡鳥取藩主池田家墓所保存会運営補助 ・藩主墓の保存整備工事 ・設計監理 ・保存整備委員会の開催 ・次年度工事の設計 ・史跡管理と啓発事業	①史跡鳥取藩主池田家墓所保存会運営補助 ・藩主墓の保存整備工事 ・設計監理 ・保存整備委員会の開催 ・次年度工事の設計 ・史跡管理と啓発事業	①史跡鳥取藩主池田家墓所保存会運営補助 ・藩主墓の保存整備工事 ・設計監理 ・保存整備委員会の開催 ・次年度工事の設計 ・史跡管理と啓発事業
年度別実績	①史跡鳥取藩主池田家墓所保存会運営補助 ○藩主墓の保存整備工事・設計監理・保存整備委員会の開催(2回) ○次年度工事の設計 ○史跡管理と啓発事業(燈籠会、写真コンクール等)	①史跡鳥取藩主池田家墓所保存会運営補助 ・藩主墓の保存整備工事 ・設計監理 ・保存整備委員会の開催 ・次年度工事の設計 ・史跡管理と啓発事業					
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	11,548	12,208	0	0	0	
	直接経費 A	10,826	11,476	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	10,826	11,476	0	0	0		
人件費 B	722	732	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
				1	池田家墓所を活用したイベントへの来場者数	人	目標	600
			実績	700	700	0	0	0
	(指標の説明) 池田家墓所燈籠会等、池田家墓所を活用したイベントへの来場者数。基準値は27年度実績							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】鳥取城整備推進係 0857-20-3359</p> <p>【10次総の施策体系】3302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P237（教047）</p> <p>【事業の概要】 鳥取藩主池田家墓所は、（公財）史跡鳥取藩主池田家墓所保存会が事業主体となり、日常的な管理事業及び保存修理事業を実施し、いずれも「公益財団法人史跡鳥取藩主池田家墓所保存会運営補助金等交付要綱」に基づいて鳥取市は補助負担している。このうち、保存修理事業は、平成15年度に策定した保存整備計画に基き、劣化の進行した個所に関する保存修理を実施中である。事業期間は、平成16年度から平成32年度までの予定。</p> <p>【事業の成果】 経費及び管理費の一部を補助し、文化財の保護・保存を図る。 ◎管理事業 *管理人報酬・理事会・啓発事業（①燈籠会②写真コンクール開催等）を実施した。 ◎保存修理事業 *藩主墓の保存整備工事・設計監理・保存整備委員会（2回）・翌年度の設計を実施した。 平成27年度 13,396千円 平成28年度 10,826千円 平成29年度 11,476千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成32年度の事業完了へ向け、着実な事業実施を図る。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	池田家墓所を活用したイベントへの来場者数	117%	100%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	当初の計画どおり事業が行われた。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%未満：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	当初の計画どおり成果を得ることができた。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	重要な国史跡として今後も県と協力し、適正な管理・活用を進めていく。		

事務事業評価シート

事務事業コード	023901	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	史跡等保存・整備事業(美敷水源地)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち	事業期間	平成21年度 ~ 平成30年度	
	政策	03	魅力ある鳥取文化づくり	根拠法令、 根拠計画等		
	施策	3302	文化財の整備・保存・活用			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度		
	『文化財が適切に保存管理されている』と思う市民の割合(H26年度:62%)		0%	65%	事業分類区分	建設、整備
	主な文化財関連施設への入込数		97,000人	109,000人	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	美敷水源地保存整備事業費		予算事業コード	01-09-04-05-25-01	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	重要文化財旧美敷水源地水道施設
意図 (どのような状態 にするために)	文化財として良好な状態で保存・活用し、地域資源としての価値を高める。
手段 (どうするか)	建造物の保存修理と活用整備を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		年度別計画	①指定文化財建造物の修理工事を実施する。 ②文化財を活用するための見学路等の施設を整備する。 ③可能な範囲で公開事業を実施する。	①指定文化財建造物の修理工事を完了し、事業報告書を作成する。 ②文化財を活用するためのガイダンス施設の設置等を行う。 ③可能な範囲で公開事業を実施する。	①ガイダンス施設内の展示物を整備する。 ②整備の完成を記念した行事等を実施し、公開活用を開始する。 ③委託による定常管理・活用に移行する。 ④水道局より土地の移管を受ける。	文化財の適正な保存管理と公開活用を継続して実施する。
年度別実績	①文化財建造物の修理工事を実施した。 ②見学路、アズマヤの整備等を行った(一部繰越)。 ③10月29日に全国近代化遺産一斉公開に合わせて一般公開を実施した。	①指定文化財建造物の修理工事を完了し、事業報告書を作成した。 ②文化財を活用するためのガイダンス施設の設置等を行った。 ③10月21日に一般公開を実施した。				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	122,381	248,008	0	0	0
	直接経費 A	118,771	244,348	0	0	0
	国・県	76,321	162,609	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	63,811	0	0	0
一般財源	42,450	17,928	0	0	0	
人件費 B	3,610	3,660	0	0	0	
職員数の 内訳	正規職員	0.50	0.50	0.00	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
				1	美敷水源地の建造物修理工事の進捗率	%	目標	80
	(指標の説明) 建造物の保存修理の進捗率		実績	80	100	0	0	0
2	特別公開・見学会等の参加人数	人	目標	200	200	2500	0	0
	(指標の説明)		実績	220	150	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】鳥取城整備推進係 0857-20-3359</p> <p>【10次総の施策体系】3302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P239(教052)</p> <p>【事業の概要】 旧美敷水源地水道施設は、鳥取市の水がめとして大正から昭和にかけて60年にわたって使用された水道施設であり、貴重な近代化遺産として平成19年6月に国の重要文化財に指定された。保存整備基本計画及び保存活用計画を策定し、保存修理・活用整備を実施。 1 重要文化財建造物の保存修理事業(平成25～29年度) 2 重要文化財建造物の活用整備事業(平成25～30年度)</p> <p>【事業の成果】 1 保存修理事業については事業完了した。 2 活用整備事業についてはガイダンス施設の建物整備等を行った。 平成27年度 43,665千円 平成28年度 118,771千円 平成29年度 236,891千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成29年度で文化財建造物の保存修理は完了し、30年度にはガイダンス施設の展示整備を終えて、秋にグランドオープンとなる。施設管理は地元団体に委託し適正な管理等を行っていくとともに、全国での保存修理の模範事例となる建造物であるため、歴史的な意義のみならず水道技術等にも価値を見出す活用等を図る。</p> <p>※その他財源の繰入金は、公共施設等整備基金繰入金</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	美敷水源地の建造物修理工事の進捗率	100%	100%			
	2	特別公開・見学会等の参加人数	110%	75%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	修理工事については計画どおり完了できた。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%～150%未満:上回る」、「80%～100%未満:目標どおり」、「50%～80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	活用のための整備工事について災害による繰越が生じたが、概ね計画どおりの成果が得られた。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>事業は順調に進んでおり、公開・活用により、国府地域の新たな魅力ある文化財として発信できるよう、美敷地区、国府ガイドクラブをはじめ各施設、関係機関等と連携を図る。</p>	

事務事業評価シート

事務事業コード	023902	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	史跡等保存・整備事業(上寺地遺跡)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	平成16年度 ~ 全期
	政策	03	魅力ある鳥取文化づくり		根拠法令、根拠計画等	文化財保護法
	施策	3302	文化財の整備・保存・活用			
施策の目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備
	「文化財が適切に保存管理されている」と思う市民の割合(H26年度:62%)		0%	65%	運営方法	直営
	主な文化財関連施設への入込数		97,000人	109,000人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	上寺地遺跡管理事業費			予算事業コード	01-09-04-05-16-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	史跡青谷上寺地遺跡
意図 (どのような状態にするために)	史跡青谷上寺地遺跡は現在14万6,132.99㎡の広さがあり、市有地、県有地及び私有地が混在しており、史跡内の私有地について県が公有地化を進めている。「国史跡青谷上寺地遺跡 保存管理計画及び整備活用基本計画」に沿って、史跡内の環境保持と情報発信に努めるとともに史跡整備を進め、国内有数の弥生遺跡として貴重な青谷上寺地遺跡を活かして、地域活性化や郷土の誇りにつなげる。
手段 (どうするのか)	史跡地内の市有地及び県有地については、史跡整備まで市及び県それぞれが除草・水路管理等を実施し、情報発信及び体験事業については、県、市及び関係団体で組織する青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会で連携して活動している。全国的な知名度アップと来訪者数の増加を目指す。また、史跡整備については、発掘調査成果や弥生の王国調査整備活用委員会の意見等を踏まえ、県に協力し基本設計、実施設計及び整備を進めていく。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		年度別計画	①青谷上寺地遺跡公園の除草 ②青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会負担 ③青谷上寺地遺跡整備に伴う基本設計負担	①青谷上寺地遺跡公園の除草 ②青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会負担 ③青谷上寺地遺跡整備に伴う基本設計負担	①青谷上寺地遺跡公園の除草 ②青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会負担 ③青谷上寺地遺跡整備に伴う基本設計負担	①青谷上寺地遺跡公園の除草 ②青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会負担 ③青谷上寺地遺跡整備に伴う実施設計負担
年度別実績	①青谷上寺地遺跡公園の除草 ②青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会負担 ③青谷上寺地遺跡整備に伴う基本設計負担	①青谷上寺地遺跡公園の除草 ②青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会負担 ③青谷上寺地遺跡整備に伴う基本設計負担				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	6,098	6,214	0	0	0
	直接経費 A	3,932	4,018	0	0	0
	直接経費の財源内訳					
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	
一般財源	3,932	4,018	0	0	0	
人件費 B	2,166	2,196	0	0	0	
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.00	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
				1	史跡内の草刈等の環境整備実施回数	回	目標	2
	(指標の説明) 史跡内の草刈等の環境整備実施回数		実績	2	2	0	0	0
2			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-20-3367</p> <p>【10次総の施策体系】 3302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P239（教051）</p> <p>【事業の概要】 青谷上寺地遺跡は弥生時代の多種多様な遺物が大量に出土している貴重な遺跡であり、平成20年に3月に国史跡に指定され、その後4回にわたり追加指定が行われた。 現在、146,132.99㎡の指定地のうち52,484.28㎡が市有地であり、公有地化を進めている鳥取県とともに維持管理、活用、情報発信を進めており、平成28～30年度にかけて県と協力し遺跡整備のための基本設計を行っている。</p> <p>【事業の成果】 史跡青谷上寺地遺跡内の除草 799千円 史跡青谷上寺地遺跡内のへり防除空中散布 134千円 青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会委託への負担 1,603千円 史跡青谷上寺地遺跡の整備事業（基本設計）に係る負担 1,482千円 平成27年度 2,926千円 平成28年度 3,932千円 平成29年度 4,018千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成22年3月に策定した整備活用基本計画に基づき県と協力して史跡整備等を進める。 市民の誇りや地域活性化、交流人口の増加等につながるよう、地元要望にも配慮しながら遺跡整備を進める必要がある。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標 達成 率	1	史跡内の草刈等の環境整備実施回数	100%	100%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	概ね計画どおりである。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%未満：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	概ね計画どおり事業執行できた。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
		<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>史跡青谷上寺地遺跡の整備や展示施設の拡充等については、以前から青谷地域の要望が強かったものであり、県と協力して整備活用基本計画の詳細化及び基本設計策定のうへ、具体化を図っていく。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	024000	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	鳥取城跡保存修理事業		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち	事業期間	昭和32年度 ~ 全期	
	政策	03	魅力ある鳥取文化づくり	根拠法令、 根拠計画等	史跡鳥取城跡附太閤ヶ平保存 整備基本計画・文化財保護法	
施策	3302	文化財の整備・保存・活用				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	
	「文化財が適切に保存管理されている」と思う市民の割合(H26年度:62%)		0%	65%		建設、整備
	主な文化財関連施設への入込数		97,000人	109,000人	運営方法	直営
			0	0	会計区分	
予算	予算事業名	鳥取城跡保存修理事業費		予算事業コード	01-09-04-05-06-01	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	史跡鳥取城跡附太閤ヶ平
意図 (どのような状態 にするために)	文化財として良好な状態で保存・活用し、地域資源としての価値を高める。
手段 (どうするのか)	「保存整備基本計画」に基づき、史跡鳥取城跡の建造物の復元や石垣の修理、環境整備などを行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
	年度別計画		①大手登城路の復元整備を実施する。 ②文化財の保存修理を実施する。 ③史跡の管理・環境維持を実施する。 ④史跡の調査研究・情報発信を行う。	①大手登城路の復元整備を実施する。 ②文化財の保存修理を実施する。 ③史跡の管理・環境維持を実施する。 ④史跡の調査研究・情報発信を行う。	①大手登城路の復元整備を実施する。 ②文化財の保存修理を実施する。 ③史跡の管理・環境維持を実施する。 ④史跡の調査研究・情報発信を行う。	①大手登城路の復元整備を実施する。 ②文化財の保存修理を実施する。 ③史跡の管理・環境維持を実施する。 ④史跡の調査研究・情報発信を行う。	①大手登城路の復元整備を実施する。 ②文化財の保存修理を実施する。 ③史跡の管理・環境維持を実施する。 ④史跡の調査研究・情報発信を行う。
年度別実績		①大手登城路内の内、擬宝珠橋復元に着手した。 ②内堀の崩落した石垣を修理した。 ③史跡の管理・環境維持を実施した。 ④史跡の調査研究・情報発信を行った。	①大手登城路の擬宝珠橋復元工事を行った。 ②中ノ御門石垣修理に着手した。 ③史跡の管理・環境維持を実施した。 ④史跡の調査研究・情報発信を行った。				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	280,594	334,919	0	0	0	
	直接経費 A	273,375	327,600	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	163,919	189,690	0	0	0
		地方債	56,400	104,700	0	0	0
		その他	472	19,768	0	0	0
一般財源	52,584	13,442	0	0	0		
人件費 B	7,219	7,319	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	大手登城路の発掘調査の進捗率	%		70	75	80	85	90
				70	75	0	0	0
(指標の説明) 大手登城路内の発掘調査の進捗率。								
2	大手登城路等石垣修理	%		5	30	45	50	60
				5	30	0	0	0
(指標の説明) 大手登城路及びその周辺の石垣修理工事の進捗率。								
3	大手登城路復元整備事業	個		1	1	2	2	2
				1	1	0	0	0
(指標の説明) 大手登城路内で整備する復元建造物の整備工事数。								

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】鳥取城整備推進係 0587-20-3359</p> <p>【10次総の施策体系】3302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P237(教048)</p> <p>【事業の概要】 鳥取城跡附太閤ヶ平は、昭和32年に国指定文化財になって以後、年次計画で昭和18年の鳥取大震災等で損傷した石垣の保存修理を実施してきた。現在は「史跡鳥取城跡保存整備実施計画」(平成18年度策定)に基づき、平成30年代前半期の完成を目標に大手登城路復元整備事業に取り組んでおり、平成20年度から復元資料を得るための発掘調査を補助事業で実施している。</p> <p>【事業の成果】 復元整備に取り組んでいる大手登城路の建物のうち、平成27年度に「擬宝珠橋」と「表御門」の復元について文化庁から許可を得て、平成28年度から擬宝珠橋復元工事を行っている。平成29年度には「中ノ御門櫓門」の復元許可を得た。 鳥取城跡の復元整備・環境整備を実施することで、市民の文化財保護意識を醸成するとともに、来訪者の増加等、市の代表的な史跡として活用を図ることができた。</p> <p>平成27年度 113,158千円 平成28年度 273,375千円 平成29年度 327,600千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成30年代前半期の完成を目指して大手登城路の復元整備を進めるとともに、史跡全体の整備活用を図っていく。</p> <p>※その他財源の繰入金は、公共施設等整備基金繰入金</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	大手登城路の発掘調査の進捗率	100%	100%			
	2	大手登城路等石垣修理	100%	100%			
	3	大手登城路復元整備事業	100%	100%			

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了	国庫補助金の査定により、事業量の調整が必要となったため。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	国庫補助金の増額を見込んでいたが、措置が得られなかった。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>表玄関の擬宝珠橋復元が順調に進んでおり、市民の期待も感じられる。国補助金次第であるが、大手登城路の復元整備等を着実に実施していく。今後、史跡内の仁風閣等とも連携した滞留型事業等を検討する。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	024100	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	文化財調査事業		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	全期
	政策	03	魅力ある鳥取文化づくり		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	3302	文化財の整備・保存・活用			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備
	『文化財が適切に保存管理されている』と思う市民の割合(H26年度:62%)		0%	65%	運営方法	直営
	主な文化財関連施設への入込数		97,000人	109,000人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	埋蔵文化財調査費			予算事業コード	01-09-04-05-11-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	開発原因者
意図 (どのような状態 にするために)	遺跡の範囲を確認し、開発事業との調整を図る。
手段 (どうするのか)	開発事業計画区域内に試掘調査を実施し、遺跡の有無を確認する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①試掘調査の実施	①試掘調査の実施	①試掘調査の実施	①試掘調査の実施	①試掘調査の実施	
	年度別実績	①試掘調査件数 10件 ・山手所在遺跡 ・湖山所在遺跡 ・青谷上寺地遺跡 ・亀井茲矩公墓所	①試掘調査件数 14件 ・会下・郡家遺跡 ・山根所在遺跡 ・布勢所在遺跡 ・曳田小寺遺跡 ほか ②土壌分析 1件 ・青谷上寺地遺跡				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	27,279	22,054	0	0	0	
	直接経費 A	21,504	16,199	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	11,734	5,623	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	9,770	10,576	0	0	0	
人件費 B	5,775	5,855	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.80	0.80	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	試掘調査を実施した遺跡数	件	目標	18	10	10	10	10
		実績		10	14	0	0	0	
	(指標の説明) 試掘調査を実施した遺跡数								
2	開発事業との協議件数	件	目標	100	150	150	150	150	
			実績	232	226	0	0	0	
	(指標の説明) 開発事業との協議件数								
3			目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)							

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-20-3367</p> <p>【10次総の施策体系】 3302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P238（教050）</p> <p>【事業の概要】 埋蔵文化財が確認されている場所で計画されている各種開発事業と調整を図り、文化財保護に務めた。</p> <p>【事業の成果】 (調査場所) 会下・郡家遺跡 123.5㎡ 下味野所在遺跡 63.0㎡ 海士所在遺跡 23.6㎡ 山根所在遺跡 110.5㎡ ほか 計 14件 481.9㎡ 平成27年度 13, 254千円 平成28年度 21, 504千円 平成29年度 16, 199千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 近年、公共事業のほか民間開発に伴う問い合わせ件数も増加傾向にあり、公共工事だけでなく民間開発にも対応できるよう体制を強化する必要がある。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標 達成 率	1	試掘調査を実施した遺跡数	56%	140%			
	2	開発事業との協議件数	232%	151%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	<p>依頼のあった試掘調査は計画どおり年度内に計画どおり実施している。</p>
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>本年度は試掘調査依頼が多く、目標を上回った。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>周知の埋蔵文化財包蔵地で行われる開発事業については、今後も試掘調査等を実施しながら調整を図る必要がある。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	024200	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	埋蔵文化財体験・活用事業		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間
	政策	03	魅力ある鳥取文化づくり		根拠法令、 根拠計画等
	施策	3302	文化財の整備・保存・活用		
目標の 種別	平成28年度	平成29年度	平成30年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	0%	65%		運営方法	直営
	97,000人	109,000人		会計区分	一般会計
	0	0			
予算	予算事業名	埋蔵文化財体験・活用事業費		予算事業コード	01-09-04-05-30-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民及び市内の小学校
意図 (どのような状態 にするために)	出土品を直接触れる機会を創出したり、発掘調査の成果を市民に公開する場を設ける。
手段 (どうするのか)	出土品の活用を図るために小学校へ出前授業を実施する。展示会は博物館はもとより、公民館や図書館等の施設で開催し市民へ調査成果等を還元する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①出土品の展示会 ②遺跡の見学会 ③小学校へ出前授業 ④古墳ガイドブック作製	①出土品の展示会 ②遺跡の見学会 ③小学校へ出前授業	①出土品の展示会 ②遺跡の見学会 ③小学校へ出前授業	①出土品の展示会 ②遺跡の見学会 ③小学校へ出前授業	①出土品の展示会 ②遺跡の見学会 ③小学校へ出前授業	
	年度別実績	①出土品の展示会 (博物館1回) (地区公民館2箇所) ②遺跡の見学会 (梶山古墳 榑本廃寺跡) ③小学校へ出前授業 (市内35校) ④古墳ガイドブック作製	①出土品の展示会 (地区公民館1箇所) ②遺跡の見学会 (梶山古墳) ③小学校へ出前授業 (市内37校)				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	3,254	2,537	0	0	0	
	直接経費 A	1,088	341	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	793	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	295	341	0	0	0
人件費 B	2,166	2,196	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	発掘展の入場者数	人	目標	1000	1000	1000	1000	1000
		実績		4161	1000	0	0	0	
	(指標の説明) 発掘展の入場者数								
2	遺跡見学会の参加者数	人	目標	200	200	200	200	200	
			実績	350	220	0	0	0	
	(指標の説明) 遺跡見学会の参加者数								
3	出前授業実施率	%	目標	100	100	100	100	100	
			実績	79.5	84.1	0	0	0	
	(指標の説明) 出前授業実施率								

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-20-3367</p> <p>【10次総の施策体系】 3302</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 多くの市民に考古学の楽しさや地域の歴史に興味・関心をもってもらい、文化財愛護の精神の醸成を図る事業。</p> <p>【事業の成果】 1 小学生を対象に「こども考古学教室」を実施し、本物の出土品に触れたり、火起こしなどの体験活動を行った。(市内44小学校中37校) 2 発掘調査によって出土した遺物を多くの市民に見てもらうため、地区公民館で移動展示を行った(1地区公民館)。 3 史跡梶山古墳壁画の一般公開を行った。(220人)</p> <p>【今後の課題・方向性】 小学校への出前授業では、実施校の満足度は高く、翌年度も継続して希望する小学校が多いが、未実施の小学校もあり、100%実施へ近づけたい。また、遺物の移動展示については、博物館、コミュニティセンター、地区公民館等で実施し、調査成果等を市民へ還元するとともに、市外及び県外の施設での展示等にも協力するなど、情報発信にも努める。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	発掘展の入場者数	416%	100%			
	2	遺跡見学会の参加者数	175%	110%			
	3	出前授業実施率	80%	84%			

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	計画どおりに事業完了した。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>栃本廃寺跡では6月に地区のホテルまつりが開催され、約100人の見学者が訪れたこともあり本年度の栃本廃寺跡の見学会は実施しなかった。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>多くの市民が文化財に関心を持ち親しみを感じていただけるよう、出土遺物や史跡等と触れ合える機会をさらに創出する必要がある。小学校での歴史学習においても、学校周辺に所在する遺跡等を知ること、ふるさとへの愛着が深まると考えられるため、古墳や中世城跡跡などの情報を提供していく。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	024301	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	文化施設管理事業(仁風閣・宝扇庵)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち	事業期間	昭和51年度 ~ 全期	
	政策	03	魅力ある鳥取文化づくり	根拠法令、 根拠計画等	文化財保護法、鳥取市仁風閣 及び宝扇庵の設置及び管理に 関する条例	
	施策	3302	文化財の整備・保存・活用			
目標の 種別	平成28年度		平成32年度		事業分類区分	
	「文化財が適切に保存管理されている」と思う市民の割合(H26年度:62%)		0%			施設管理
	主な文化財関連施設への入込数		97,000人		運営方法	
			0		会計区分	一般会計
予算	予算事業名	仁風閣・宝扇庵管理費		予算事業コード	01-09-04-05-07-01	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	仁風閣・宝扇庵
意図 (どのような状態 にするために)	重要文化財建造物を含む施設の維持管理を行うとともに、文化財・文化観光施設としての活性化を図る。
手段 (どうするのか)	公益財団法人鳥取市文化財団を指定管理者に指定し、文化財建造物の適正な管理と施設の円滑な管理運営を行い各種展示・イベント等の活用事業を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
		①文化財建造物・施設の管理運営 ②企画展・イベント等の開催 ③外壁等改修	①文化財建造物・施設の管理運営 ②企画展・イベント等の開催 ③門扉等改修	①文化財建造物・施設の管理運営 ②企画展・イベント等の開催	①文化財建造物・施設の管理運営 ②企画展・イベント等の開催 ③耐震診断の実施	①文化財建造物・施設の管理運営 ②企画展・イベント等の開催 ③耐震・修理工事の実施		
年度別実績	①施設の管理運営 ②企画展・イベント等の開催 ③外壁等改修	①文化財建造物・施設の管理運営 ②企画展・イベント等の開催 ③門扉等改修						
	事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
事業費	事業費(A+B)		21,319	21,926	0	0	0	
	直接経費 A		19,153	19,730	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県		0	0	0	0	0
		地方債		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
一般財源		19,153	19,730	0	0	0		
人件費 B		2,166	2,196	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員		0.30	0.30	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
				仁風閣・宝扇庵の入場・利用者数	人	目標	37000	38000
1	(指標の説明) 仁風閣・宝扇庵の入場・利用者数	実績	39097	42578	0	0	0	
		満足度調査の総合で良いと答えた割合	%	目標	80	80	85	85
2	(指標の説明) 満足度調査で良いと答えた割合	実績	85	86	0	0	0	
		目標	0	0	0	0	0	
3	(指標の説明)	実績	0	0	0	0	0	
		目標	0	0	0	0	0	

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-20-3367</p> <p>【10次総の施策体系】 3302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P238（教049）</p> <p>【事業の概要】 仁風閣は片山東熊博士の設計により明治40年5月に建設された山陰地方を代表する洋風建築であり、昭和48年に重要文化財に指定された。昭和49年から51年にかけて建物の半解体修理を行い、51年11月から一般公開している。また、宝扇庵は江戸時代に扇御殿の化粧間（けわいのま）として建築されたもので、昭和48年に修復を行っている。 重要文化財の公開施設である仁風閣は、同敷地内にある宝扇庵と合わせて平成18年4月から指定管理者による管理運営を行っている。</p> <p>【事業の成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 指定管理者である公益財団法人鳥取市文化財団が管理運営を行った。 平成29年度指定管理料 18,974,000円、平成29年度入館者数 42,578人 門扉等改修 平成27年度 27,871千円 平成28年度 19,153千円 平成29年度 19,730千円 <p>【今後の課題・方向性】 本市を代表する観光施設となっている仁風閣であり、鳥取城跡との相乗効果も見込まれる。建物の劣化等が進んでおり、数年後には大規模な改修が必要と見込まれる。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	仁風閣・宝扇庵の入場・利用者数	106%	112%			
	2	満足度調査の総合で良いと答えた割合	106%	108%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	指定管理者による管理運営計画は順調に実施され、別事業での正門等の改修も計画どおり実施した。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%未満：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	「明治ルネッサンスプロジェクト」をコンセプトにした指定管理者の管理運営は好評で、20年ぶりに4万人台の入館者数となった。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	仁風閣は本年度、世界大手の旅行サイトから『2017年エクセレンス認証』に認定され、20年ぶりに入館者4万人台となるなど、文化財の観光への活用が十分達成されていると考える。今後、保存と活用の両面を見据えた保存活用計画を策定する必要がある。		

事務事業評価シート

事務事業コード	024302	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	文化施設管理事業(青谷上寺地遺跡展示館・あおや郷土館)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	30	地域に活気があるまち		事業期間	平成5年度～全期
	03	魅力ある鳥取文化づくり		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市青谷上寺地遺跡展示館 の設置及び管理に関する条例、 鳥取市あおや郷土館の設置及 び管理に関する条例
	3302	文化財の整備・保存・活用			
目標の 種別	平成28年度	平成32年度	事業分類区分	施設管理	
	0%	65%	運営方法	指定管理	
	97,000人	109,000人	会計区分	一般会計	
	0	0			
予算	予算事業名	青谷上寺地遺跡展示館・あおや郷土館運営管理費	予算事業コード	01-09-04-05-32-01	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市青谷上寺地遺跡展示館 鳥取市あおや郷土館
意図 (どのような状態 にするために)	施設の維持管理を行うとともに、地域の歴史文化を情報発信し、地域の活性化に資するとともに、利用者の増加を図る。
手段 (どうするのか)	公益財団法人鳥取市文化財団を指定管理者に指定し、施設の円滑な管理運営と、各種展示・体験活動等を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①施設の管理運営 ②企画展・イベントの 開催 ③講座・体験活動の実 施	平成29年度 ①施設の管理運営 ②企画展・イベントの 開催 ③講座・体験活動の実 施	平成30年度 ①施設の管理運営 ②企画展・イベントの 開催 ③講座・体験活動の実 施	平成31年度 ①施設の管理運営 ②企画展・イベントの 開催 ③講座・体験活動の実 施	平成32年度 ①施設の管理運営 ②企画展・イベントの 開催 ③講座・体験活動の実 施	
	年度別実績	①施設の管理運営 ②企画展・イベントの 開催 ③講座・体験活動の実 施	①施設の管理運営 ②企画展・イベントの 開催 ③講座・体験活動の実 施				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	31,388	31,645	0	0	0	
	直接経費 A	30,666	30,913	0	0	0	
	直接経 費の財 源内訳	国・県	4,505	4,386	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	12	12	0	0	0
		一般財源	26,149	26,515	0	0	0
人件費 B	722	732	0	0	0		
職員数の 内訳	正規職員	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	青谷上寺地遺跡展示館の利用者数	人	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		目標	8000	8500	9000	9500	10000			
		実績	7975	8230	0	0	0			
	(指標の説明) 利用者数									
	2	あおや郷土館の利用者数	人	目標	8000	8500	9000	9500	10000	
		実績	8862	8425	0	0	0			
		(指標の説明) 利用者数								
	3	満足度調査の総合で良いと答えた割合	%	目標	60	60	65	65	65	
		実績	60	64	0	0	0			
(指標の説明) 満足度調査で良いと答えた割合										

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-20-3367</p> <p>【10次総の施策体系】 3302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P240（教053）</p> <p>【事業の概要】 青谷上寺地遺跡展示館は平成13年8月に開館し、弥生時代から古墳時代初頭に栄えた青谷上寺地遺跡から出土した貴重な遺物等を展示公開するとともに、遺跡等の学習や体験事業を行うことができる施設である。あおや郷土館は平成5年4月に開館し、青谷町地域を中心とした郷土の歴史、民俗、美術、自然等の調査研究や資料収集、展示公開等を行い、学べる、地域文化と観光振興に資する教育文化施設である。両施設とも、平成20年4月から指定管理者による管理運営を行っている。</p>
	<p>【事業の成果】</p> <p>1 指定管理者である公益財団法人鳥取市文化財団が管理運営を行った。</p> <p>①青谷上寺地遺跡展示館 平成29年度指定管理料 13,016,000円 平成29年度入館者数 8,230人</p> <p>②あおや郷土館 平成29年度指定管理料 17,888,000円 平成29年度入館者数 8,425人</p> <p>平成27年度 36,078千円、平成28年度 30,666千円、平成29年度 30,913千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 青谷上寺地遺跡展示館については、国史跡青谷上寺地遺跡の整備や新たな展示収蔵施設の計画等に伴い、今後の在り方を検討する必要がある。あおや郷土館については、平成26年度に青谷町地域の観光資源を紹介するジオパークコーナーを設置し、複合的な青谷町地域の観光案内の拠点となっている。美術資料や民俗資料等の収蔵品が豊富であるため、市内他地域での活用も求められる。 ※その他財源の使用料は、駐車場使用料</p>

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	青谷上寺地遺跡展示館の利用者数	100%	97%			
	2	あおや郷土館の利用者数	111%	99%			
	3	満足度調査の総合で良いと答えた割合	100%	107%			

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	指定管理者による管理運営計画は順調に実施された。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	概ね目標どおりの成果であった。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	現状維持とし、今後の青谷上寺地遺跡の整備や山陰道の開通等を踏まえ、両施設の在り方を検討していく。	

事務事業評価シート

事務事業コード	024303	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	文化施設管理事業(歴史博物館)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

位置づけ の 総 計 画 の 目 標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	平成12年度 ~ 全期
	政策	03	魅力ある鳥取文化づくり		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市歴史博物館の設置及び 管理に関する条例
	施策	3302	文化財の整備・保存・活用			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	施設管理
	「文化財が適切に保存管理されている」と思う市民の割合(H26年度:62%)		0%	65%	運営方法	指定管理
	主な文化財関連施設への入込数		97,000人	109,000人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	歴史博物館管理費			予算事業コード	01-09-04-05-34-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市歴史博物館
意図 (どのような状態 にするために)	登録博物館として適正な維持・管理・運営を行い市民文化の向上に資するとともに、利用者の増加を推進する。
手段 (どうするのか)	公益財団法人鳥取市文化財団を指定管理者に指定し、施設の円滑な管理運営と、調査研究・展示・体験活動等を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①施設の管理運営 ②特別展・企画展等の 開催 ③体験活動・イベント 等の開催	平成29年度 ①施設の管理運営 ②特別展・企画展等の 開催 ③体験活動・イベント 等の開催	平成30年度 ①施設の管理運営 ②特別展・企画展等の 開催 ③体験活動・イベント 等の開催	平成31年度 ①施設の管理運営 ②特別展・企画展等の 開催 ③体験活動・イベント 等の開催	平成32年度 ①施設の管理運営 ②特別展・企画展等の 開催 ③体験活動・イベント 等の開催	
	年度別実績	①施設の管理運営 ②特別展・企画展等の 開催 ③体験活動・イベント 等の開催	①施設の管理運営 ②特別展・企画展等の 開催 ③体験活動・イベント 等の開催				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	123,631	125,832	0	0	0	
	直接経費 A	122,909	125,100	0	0	0	
	直接経 費の財 源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	57	68	0	0	0
	一般財源	122,852	125,032	0	0	0	
人件費 B	722	732	0	0	0		
職員数の 内訳	正規職員	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		鳥取市歴史博物館の利用者数	人	目標	21000	21500	22000	22500	23000
	(指標の説明) 利用者数		実績	21009	33289	0	0	0	
	2	満足度調査の総合で良いと答えた割合	%	目標	55	55	60	60	60
		(指標の説明) 満足度調査で良いと答えた割合		実績	49	51	0	0	0
	3			目標	0	0	0	0	0
(指標の説明)			実績	0	0	0	0	0	

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-20-3367</p> <p>【10次総の施策体系】 3302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P240（教054）</p> <p>【事業の概要】 第5次鳥取市総合計画において「市民が愛護精神や郷土愛を培いながら歴史や文化を体系的に学習できるよう、文化財の研究調査、公開展示、保存管理を行う施設の整備を促進する」と掲げ、平成9年度に建設着手、11年5月に完成、愛称を「やまびこ館」と決定し、翌12年7月1日に開館した。平成18年4月から指定管理者による管理に移行した。</p> <p>【事業の成果】 1 指定管理者である公益財団法人鳥取市文化財団が管理を行った、 平成29年度指定管理料 110,594,436円 平成29年度特別展等開催委託 8,841,132円 第2駐車場出入口ゲート機器遠隔操作警備委託 388,800円 平成29年度入館者数 33,289人 平成27年度 153,412千円 平成28年度 122,909千円 平成29年度 125,100千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成12年の開館以来17年を経過し、常設展示室の旧態化や空調設備の老朽化が進んでいるため、開館20周年を目標に常設展示の更新や空調設備の更新を検討するとともに、重要資料が展示公開できる施設を目指す。</p> <p>※その他財源の諸収入は、施設使用に伴う光熱水費等</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	鳥取市歴史博物館の利用者数	100%	155%			
	2	満足度調査の総合で良いと答えた割合	89%	93%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	指定管理者による管理運営計画や常設展示グラフィック更新等、順調に実施された。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	絵本のひきだし 林明子原画展では、入館者数が13,085人を記録するなど、入館者目標を大幅に上回った。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	鳥取市歴史博物館は本市の歴史文化等に関する文化学習施設のセンター館と位置づけている。30年度には用瀬郷土歴史館の取蔵資料展示を行う予定であるなど、新市域を含めた調査研究や展示公開をさらに進めてほしい。また、開館20周年を迎える3年後には、常設展示更新や空調設備更新を実施したい。		

事務事業評価シート

事務事業コード	024304	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	文化施設管理事業(因幡万葉歴史館)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	平成6年度～全期
	政策	03	魅力ある鳥取文化づくり		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市因幡万葉歴史館の設置 及び管理に関する条例
	施策	3302	文化財の整備・保存・活用			
目標の 種別	平成28年度		平成32年度		事業分類区分	施設管理
	『文化財が適切に保存管理されている』と思う市民の割合(H26年度:62%)		0%		65%	
	主な文化財関連施設への入込数		97,000人		109,000人	
	0		0		運営方法	指定管理
予算	予算事業名	因幡万葉歴史館管理費		会計区分	一般会計	
	予算事業コード	01-09-04-05-35-01				

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市因幡万葉歴史館
意図 (どのような状態 にするために)	施設の維持管理を行うとともに、利用者の増加を図る。また、隣接する国府史跡ネットワーク広場の維持管理と有効活用を図る。
手段 (どうするか)	公益財団法人鳥取市文化財団を指定管理者に指定し、施設の円滑な管理運営と、各種展示・体験活動等を実施する。また、隣接する国府史跡ネットワーク広場の管理委託を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①施設の管理運営 ②企画展・体験事業・ イベント等の開催	平成29年度 ①施設の管理運営 ②企画展・体験事業・ イベント等の開催	平成30年度 ①施設の管理運営 ②企画展・体験事業・ イベント等の開催	平成31年度 ①施設の管理運営 ②企画展・体験事業・ イベント等の開催	平成32年度 ①施設の管理運営 ②企画展・体験事業・ イベント等の開催	
	年度別実績	①施設の管理運営 ②企画展・体験事業・ イベント等の開催	①施設の管理運営 ②企画展・体験事業・ イベント等の開催				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	45,444	45,555	0	0	0	
	直接経費 A	44,000	44,091	0	0	0	
	直接経 費の財 源内訳	国・県	301	360	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	19	25	0	0	0
		一般財源	43,680	43,706	0	0	0
人件費 B	1,444	1,464	0	0	0		
職員数の 内訳	正規職員	0.20	0.20	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		因幡万葉歴史館の利用者数	人	目標	23000	23500	24000	24500	25000
		(指標の説明) 利用者数利用者数		実績	23774	23650	0	0	0
	2	満足度調査の総合で良いと答えた割合	%	目標	65	65	70	70	70
		(指標の説明) 満足度調査で良いと答えた割合		実績	75	77	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-20-3367</p> <p>【10次総の施策体系】 3302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P241（教055）</p> <p>【事業の概要】 因幡万葉歴史館は古代因幡国庁が置かれ万葉歌人の大伴家持が国守として赴任した国府地域に位置し、「万葉文化」をコンセプトに歴史文化等が学べる教育文化施設である。 平成6年に開館し、平成18年から指定管理者が管理運営を行っている。</p> <p>【事業の成果】 1 指定管理者である公益財団法人鳥取市文化財団が管理運営を行った。 平成29年度指定管理料 40,717,000円 平成29年度企画運営事業委託 1,064,000円 平成29年度国府史跡ネットワーク広場維持管理委託 1,481,188円 展望ホール鉄部塗装修繕 398,520円 雨漏修繕及び手摺塗装修繕 157,561円 平成27年度 46,642千円 平成28年度 44,000千円 平成29年度 44,091千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 重要文化財美敷水源地水道施設や国史跡の因幡国庁跡、鳥取藩主池田家墓所、梶山古墳、栃本廃寺跡、伊福吉部徳足比売の墓跡など、国府地域周辺の観光拠点となっており、因幡の傘踊りの祭典などの地域イベントの開催施設でもある。国府ガイドクラブなど地元団体との連携や鳥取市歴史博物館の分館としての市内他地域の調査研究などをさらに深め、教育文化施設としての機能強化を図る。 ※その他財源の使用料は、駐車場使用料</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	因幡万葉歴史館の利用者数	103%	101%			
	2	満足度調査の総合で良いと答えた割合	115%	118%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	指定管理者の計画どおりに事業が実施された。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	目標入館者数を上回った。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>指定管理者が管理運営している施設への小中学校授業への活用等の調整を同館が行っており、市民の学習や交流人口増加に対する貢献度が高い。施設面では老朽化や常設展示の旧態化が進んでおり、対応を検討する。</p>	